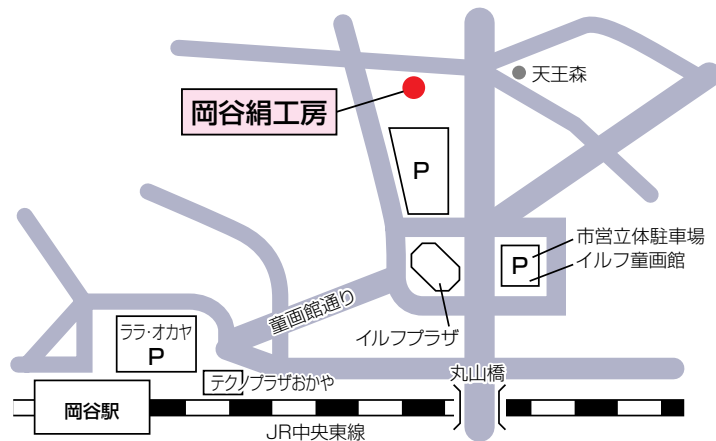


12月5日(日)

午前10時オープン

ふるさと

絹工房が移転します



住 所 岡谷市中央町1-13-17
(旧山一林組製糸事務所)

営業時間 午前9時～午後4時

営業日 火・土・日曜日

岡谷では江戸時代の中期から、農業の副業として生糸の製造が行われていました。明治に入り、国から蚕糸業が奨励されると、岡谷の製糸家はいち早く洋式器械製糸技術を導入し、努力と創意工夫を重ね、全国一の製糸業地に発展し、「糸都岡谷」の名は世界に響きわたりました。特に大正から昭和初期の全盛期には岡谷の生糸は全国生産量の25%を占め、世界に輸出され外貨の半分以上を獲得するなど、日本の近代化の原動力として大きな役割を果たしました。

岡谷絹工房は、こうした歴史を背景に岡谷のシルク

「おかや絹」の伝統を今に伝え、機織り体験や染色体験ができる「きぬのふるさと岡谷絹工房」が旧山一林組製糸事務所に移転し、リニューアルオープンします。歴史ある建物に移り、後継者育成だけでなく「おかや絹」ブランドの発信拠点として活動を広げていきます。

山一林組製糸…明治12年に創業し、次第に発展して昭和初期には県内外に9工場を持ち、4,000を越える釜を有して全国でも10本の指に入る大製糸工場でした。

事務所は大正10年に建てられた木骨煉瓦張形式の2階建洋風建築で、製糸業の全盛期の繁栄をしのぶ貴重な建築物です。





ぜひ お出かけください

きぬの 岡谷

おかや絹ブランドには、数々の種類があります。中でも、ネクタイはあしぎぬ糸と呼ばれる素材の手織り生地を仕立て、独特の温かい手織りと、1柄2本単位しかない個性のあるデザインが特徴です。



身近な草木から思わぬ色に発色する感動を、シルクの持つ光沢と柔らかさに表現した数々のスカーフやストールが揃っており、用途に応じてお選びいただけます。



「おかや絹」：岡谷のメイン素材は、上繭から手引きして作る細太の織度むらのある糸であしぎぬ糸と呼ばれるものです。「おかや絹」はこうした岡谷だけの糸使用で手織りしたものです。

産業が忘れ去られないよう、技術の伝承や手織の絹製品の開発を行っており、「おかや絹」は独特の風合と洗練されたデザインで人気を集め、岡谷の新たなブランドとして注目されています。

募 集 要 項

期 間 平成17年1月～6月
全26回（火・土・日）
時 間 午前9時～正午または午後1時～4時
申込み 12月15日（水）～22日（水）
問合せ・申込先
きぬのふるさと岡谷絹工房 ☎24-2245
または商業観光課（内線1213）



研修生を募集しています
岡谷絹工房では第15期の研修生を募集しています。昔ながらの絹織り方法や染色などを、熟練した会員のみなさんが優しく、丁寧に教えてくれます。
岡谷の歴史・絹のすばらしさを再発見して、手仕事による心のこもった創作活動でスローライフを楽しみ、伝統工芸の技を習得してみませんか。